

「平成30年7月豪雨」と今後の災害対策に向けての取り組み

「平成30年7月豪雨」により被災されました皆さまに心よりお見舞い申し上げます。
情報収集・発信や支援に関する生団連の動きと、今後の防災への取り組みについてご報告いたします。

7/6～
7/8

- ・ 気象庁が福岡県、佐賀県、長崎県、広島県、岡山県、鳥取県、京都府、兵庫県、岐阜県、愛媛県、高知県の11府県に『特別警報（大雨）』を発表

7/9

- 生団連HPに「平成30年7月豪雨」による災害状況について（第1報）を掲載

7/11

- 生団連HPに「平成30年7月豪雨」による災害状況について（第2報）を掲載

「特別警報（大雨）」が発表された上記11府県の状況を把握できるよう、各府県の公式HP等、災害情報を確認できるリンク集を掲載。発災時の情報共有を行っている、一般社団法人Smart Survival Project（SSPJ）、特定非営利活動法人ピースウィンズ・ジャパン（PWJ）両団体の救助・支援活動の様子も併せて共有しました。第2報では生団連会員企業の支援の取り組みについても情報収集し報告いたしました。

7/12～
7/14

- イオン株式会社の「『平成30年7月豪雨』復旧支援」に同行

【今回の活動の中でみえた災害復旧支援の問題点】

①物資支援のマッチングの難しさ

市役所などの拠点には支援物資が到着しているものの、そこで滞留してしまい、それらを必要としている被災者のもとに届いていない
⇒考えられる原因：

ニーズが把握しきれていない／分配方法・指示が不明確又は煩雑／被災者・場所まで届ける人員・配送手段の不足

②人的支援の必要性

広範囲に被害が及ぶ中、暑さで1人当たりが活動できる時間が限られており作業を進めるには多くの人員が必要



7/13～20
7/18

- ・ 「平成30年7月豪雨」による災害状況について（第1報、第2報）更新
- ・ 7/18「平成30年7月豪雨」による災害状況について（第3報:活動報告）配信

8/2

- 呉市東京事務所主催「平成30年7月豪雨災害報告会」へ参加

KUREP※編集長、浦山寧子様より、自身が発信したSNSの情報を交えながら、発災当時からこれまでの呉市（広島県）の被災状況や復旧支援活動の様子について報告がありました。非常時の情報収集と発信のありかた、自治体とボランティアの連携の取り方や受け入れ方、生活者の防災意識の低さなど、実際に現地で活動されているからこそ見えた問題点が共有されました。

※KUREP（クレップ）とは…

『呉好きによる、呉好きのための、もっと呉界隈が好きになる』呉の楽しい情報を発信するオウンドメディア。地元の情報をTwitterやFacebook等のSNSで発信。詳しくはこちら⇒ <https://kurep.com/>



9/28

- 第2回 新・災害対策委員会《開催予定》

今回の災害対応での気づきと反省から、生団連内で発災時に情報を共有するプラットフォームの立上げと、物資支援システム『生団連サプライ』構想の進捗と今後の具体化案について協議予定です。KUREPの浦山編集長にもご講演いただきます。

生団連の活動に注目度が高まっています！

6月の定時総会・記念パーティの挨拶で小川会長が話された「平成30年度事業計画の重点課題」がメディアに取り上げられる機会が増えています。先日は、月刊商人舎や日本経済新聞の取材に小川会長自ら応じました。

取材の中で小川会長は、重点課題を中心に生団連の活動への考え方と、生活産業と消費者団体で構成する日本初の「国民団体」としての価値を熱く語られました。

(掲載内容は一部を除き生団連のHPでご確認いただけます)



▲月刊商人舎の結城義晴社長の取材に応じる小川会長

掲載された主なメディア (平成30年度 定時総会以降)

- 6月20日 日本食糧新聞
国家財政見える化に注力
生団連18年度計画 人的鎖国脱却も
- 6月21日 食料醸界新聞
小川会長・清水名誉会長が統投
- 6月25日 菓子食品新聞
「人的鎖国やめよう」と小川会長
国家財政・予算運営の見える化と人的鎖国からの脱却
- 7月25日 日本経済新聞
「人材開国へ政策総動員」の記事内でコメント
- 8月10日 月刊商人舎
「財政の見える化」と「人的鎖国からの脱却」で斬り込む！
- 9月12日 日本経済新聞
私見卓見 永住外国人増加へ環境整備を

10月は「世界食料デー」月間

10月16日は国連が制定した「世界食料デー」です。日本では、10月を「世界食料デー」月間としています。世界では、すべての人が食べられるだけの食料は生産されているにも関わらず、多くの方が飢えで苦しんでいます。その理由の1つに食べられるのに捨てられてしまう「食品ロス」があると言われ、生団連でも削減に向け取り組んでいます。10月には以下3件の関連イベントに出展します。是非お立ち寄りください。

日	時間	企画名	場所
12日・13日	10:00~17:00	くらしフェスタ東京2018 交流フェスタ	新宿西口広場イベントコーナー
14日	11:00~16:00	あげおファミリーフェスタ with もったいないゼロ	上尾ハウジングステージ
27日	10:00~15:00	荒川区 秋のリサイクルフェスタ(仮称)	あらかわりサイクルセンター



また、東京都が立ち上げた「チームもったいない」に参加登録をしました。チームもったいないはSaving Food、Saving Materials、Saving Energyの取り組みについて活動する個人、団体に参加を呼びかけ、「もったいない」の意識や活動の輪を広げていくことを目指しています。

第3回 ASU・Mo報告書 完成

7月10日、キリンビール株式会社にご協力いただき開催しました、企業と生活者の直接対話の場「ASU・Mo」第3回目の報告書が完成しました。大いに盛り上がったこの企画、報告書も今回よりパンフレット形式にパワーアップしています(※会員の皆様には同封させていただいております)。こちらは前月のニュースレターVol.64でも活動報告を行っておりますので、ぜひHPからご覧ください。また、開催についてご興味ございましたら、下記の事務局までお気軽にお問合せください。



生団連HP 更新情報！

2018.08.29 9月1日は防災の日

2018.08.16 【メディア掲載】月間商人舎8月号にて小川会長のインタビューが掲載されました

2018.08.08 【ニュースレター】Vol.64(第3回 ASU・Mo開催 ~キリンビール株式会社~ 他)を発行いたしました

【お問合せ先】

国民生活産業・消費者団体連合会 渡邊 ☎ : 03-6833-0493 ✉ : jim@seidanren.jp
〒108-0075 東京都港区港南2-18-1 JR品川イーストビル8階 URL : http://www.seidanren.jp/